

CHUKYO UNIVERSITY

PUBLIC RELATIONS

MAGAZINE

205号 2024 dec.

中
京
大
学
广
报



真劍味

CHUKYO UNIVERSITY



主人公は、学生。



私たちの **CHUKYO**
挑戦を応援し続けて70年。

中京大学は2024年、開学70周年を迎えました。
学生一人ひとりの個性を尊重し、可能性を引き出すために、
これからも中京大学は、努力を惜しみません。

コンセプトムービーはこちらからご覧いただけます。
詳しくは



MY STORY at CHUKYO

フィギュアスケートと
就職活動の共通点。

スポーツ科学部 4年
磯村 彩姫 さん
内定先：東海旅客鉄道株式会社



MY STORY at CHUKYO

興味と自分の適性を
見極めることが大切。

工学研究科 修士2年
森岡 大和 さん
内定先：トヨタ自動車株式会社



努力は裏切らない!

地道に努力してきたフィギュアスケート。2年次では、技術や表現力をさらに磨いた結果、目標にしていた全日本インカレ出場を果たすことができました。14年間継続できたのは、コーチをはじめ、応援してくださった方々のおかげです。この経験はキャリア選択における「私自身が皆様を支える仕事がしたい」という信念の基礎となりました。

就職活動では、面接が苦手な苦戦しましたが、大学のキャリア支援課のサポートをフル活用。模擬面接を繰り返し、実践的なアドバイスをいただいたことで克服できました。コツコツ努力を積み重ねる姿勢は、社会人になっても大事にし、日々成長していきたいです。



☑ 私の学び方@中京

課外活動 指導者目線での気づき

地域の子どもたちや、大学の授業のサポートをしてきました。教えることで、スケートを始めた当時の気持ちや基礎の大切さを改めて実感。気づきがたくさんあり、貴重な経験になりました。



成長 スケートと学業の両立

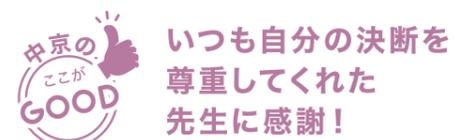
高校・大学と合計7年間の中京生活。大学では、ゼミでアスリート餃子を企画し、大学祭や豊田市のスーパーで販売したことも! 様々なことを積極的に挑戦してきました。



MY CHUKYO LIFE

めざせ、社会の即戦力。

バイクや自動車に興味があって、エンジニアになれたらいいなと考えて工学部に進みました。私が成長できたのは、学部生時代の研究室の先生のおかげです。先生は、工学の知識だけでなく「社会の即戦力となることを意識して学んでほしい」とよくおっしゃっていました。最初は即戦力を意識することにイメージが湧かなかったのですが、少しずつその言葉の意味を実感。研究を進めるうえで、チームで円滑に取り組むことや、まず自分で試行錯誤してみるなど、専門知識を高める以外の面でも大きな気づきがありました。研究を通して「チームで仕事をする方が合っているのかも」と自分の意外な一面を発見できました。自分の適性を見極められたことで、ベストな進路を見つけることができたと思います。



☑ 私の学び方@中京

研究 アットホームな研究室

大学院に進学し、研究に専念できる時間が増えました。順調なときばかりではなかったですが、先生のサポートや研究室の良い雰囲気のおかげで、頑張り続けることができました。



成長 社会人基礎力を磨く!

研究活動や国内外の学会に参加して、コミュニケーション能力が大切だと実感しました。社会人として不可欠なスキルだと思うので、先生や仲間に感謝しています。



MY CHUKYO LIFE



起業という選択肢のリアル

最初 母には反対されました。

樋口さん 限原さんが在学中に起業された理由を教えてください。

限原さん “学生のうちに”というのは実はこだわりがなくて、「やりたいことはすぐにやった方がいい」と思って行動していたら、それが学生時代だったという感じです。

樋口さん 反対はありませんでしたか？ 起業というとまだまだ不安定だとか、大丈夫！？と周囲から言われてしまうのではないかと.....。

限原さん 父は経営者ということもあって理解があったのですが、



母には普通に反対されましたよ。「やめて」って(笑)。

樋口さん そんなお母様をどうやって説得されたのでしょうか。

限原さん 反対されて諦めるようなら起業しても成功しないと思うので、揺らぎませんでした。大学卒業までは、自分で生活できるくらいの収入を得られるようになっていたので、それが安心材料になったようです。今は母も認めてくれています。

酒井さん 起業=すごい人、というイメージがあります。私自身、具体的な将来の選択肢のひとつ、とまでは考えられていません。起業に興味がないわけではないのですが.....。

限原さん 起業するのなら絶対成功しなきゃいけない、と勝手にハードルを高く設定して「自分にはできない」と思っちゃう人が多すぎます。もったいない！

酒井さん 確かに「起業=成功すべき」という思い込みはあるかもしれませんが。



江口さん そのお話に関連するのですが、起業された方やベンチャー企業の方がよく「学生のうちに挑戦しておいた方がいい」「失敗してもいい」ということをおっしゃいます。それってなぜなのでしょう？

酒井さん それ、私も気になってました！

限原さん 今の日本の社会には、学生を応援するムードがあります。



このムードを活用しない手はないと思いますよ。それに大学生って、まだ失敗しても許される。これってとても大きな強みです。30代で失敗するとそこそこ痛手だけれど、

大学生が失敗しても、まだ他のやり方や選択肢があるし、挽回するチャンスもたくさんあるからです。

江口さん なるほど～！ 具体的なメリットが聞けて参考になります。

樋口さん 限原さんは起業する学生が増えればいいと思いますか？

限原さん 自分は起業して良かったと思ってますが、だからといって「みんなもどんどん起業してね！」という気持ちはありません。でも、起業を



真剣に考えて迷っている人がいるなら、いろいろ考えるより、まずは飛び込んでから考えてもいいよ、と伝えたいですね。

「いつかやるう」は多分一生やらずに終わる。やりたと思ったたら即行動。

気になる疑問 全部 答えます



クレイジーゼロ株式会社
代表取締役

限原 龍之介さん
2023年度工学部卒業



PROFILE

「自分で何かやりたい」という気持ちを抱いたのは小学生の頃。大学2年生の時、友人とクレイジーゼロ株式会社を立ち上げる。現在の事業の中心は動画制作、SNS運用。

INTERVIEWER



樋口 生海さん
経営学部 4年



酒井 梨奈さん
総合政策学部 3年



江口 未桜さん
現代社会学部 2年

Q 限原さんは、迷わないんですか!?

あまり迷わないのですが、人間なので迷うこともありますよ(笑)。ただ、冷静に見極めたうえで、決断はなるべく早くするように心がけています。決断が速いから、迷っていないように見えるのかも!?

Q ベンチャー企業が生き残る秘訣とは。

変化に適應することだと思います。社会はどんどん進んでいくのに現状で満足していたら、置いていかれるどころか、後退しているのと同義だと思うので。

Q 家族に「起業したい」と言われたら、どう反応するのがベストですか?

挑戦を応援してあげることだと思います。家族が味方でいてくれるというのは、挑戦しようとしている人にとって、ありがたいものです。

『大学院進学は身近な選択肢』

文系の学生も積極的に大学院を選んでほしい。

大学院進学は、「限られた人のための進路」というイメージをお持ちの方も多いのではないでしょうか。確かに、そういった時期もありましたが、それはもう過去の話です。現在では、大学院進学を志す人や社会からのニーズは、大きく変わってきています。学部卒業生はもちろん、ミドル・シニア世代で「もう一度学び直したい」と考える方や「自分へのご褒美」として入学する方もいらっしゃる

ます。実際、2024年に開設した中京大学人文社会科学研究科には、教員、司書、一般企業、公務員、税理士など、幅広い将来を見据えた方が進学してきています。国際的な企業などでは、大学院修了が条件となっている就職枠も増加しています。理系では比較的メジャーな進路である大学院進学ですが、文系の学生にも、就職や留学以外の選択肢として、視野に入れていただきたいです。



人文社会科学研究科
研究科長 経済学専攻
中山 恵子 教授

教員が語る
大学院進学
の”今”。



人文社会科学研究科
副研究科長 経営学専攻
弘中 史子 教授

学習面も経済面も手厚くサポート。

中京大学学部生に対しては、学内特別選抜も導入しており、入学金等の減免も受けられます。在学中に大学院の開講科目を履修する制度もあり、うまく活用することで、時間にゆとりをもった学びが可能です。大学院卒業後の就職についても、キャリア支援課と連携し、支援を強化していく予定です。学費については、各種奨学金の利用が可能です。人文社会科学研究科は学部卒業生に限

らず、社会人の方や「学びたい」という意欲をお持ちのあらゆる方に門戸を開いています。そのため、お客様の進路としてだけでなく、本学卒業生はもちろん、保証人・シニアの皆様の学びの場になればと考えています。大学院進学という選択が、学びを志す人やさらなる高みを目指したい方にとって身近なものになれば、これほど嬉しいことはありません。

大学院進学についての相談は進学説明会、または各キャンパスの教務センター(大学院係)へ。
保証人の皆様からのご相談も歓迎! 個別の相談にも対応します。



中京大学の学びを地域の力へ



01

2024年4月 本学に **社会連携部** が発足しました。



社会連携部は課題を抱える企業や自治体等のニーズに応え、学生や教職員とのマッチングを行っています。なかでもゼミナールや公募型で行う新しいプロジェクトを推進するなど、社会連携を通じた教育に注力し、理論と実践の往還を通じた学生の成長と社会課題の解決を目指しています。

中京大学と自治体・産業界・教育機関等とのつながりを強化し、地域の活性化に貢献できるよう取り組んでいます。

02

中京大学公開講座 ソフトサイエンスシリーズ第45回 「地震研究・地震防災の現状と将来」 名古屋市科学館で開催



名古屋大学減災連携研究センター長・教授、
博士(理学) 鷲谷 威氏



2024年10月に開催された公開講座では、名古屋大学減災連携研究センター長・教授、博士(理学)の鷲谷威氏を講師にお迎えしました。鷲谷センター長には、地震発生のメカニズムや地震研究の変遷、今後の減災対策の重要性などを解説いただきました。8月に南海トラフ地震臨時情報が発表されたこともあってか、会場は満員でした。



来場者の声

- 「鷲谷先生のお話はとても理解しやすかった」
- 「減災という視点を持ち、今からできる対策を考えるようにしたい」



司会を務めた青山未夢さん(学生広報スタッフ「ライト」)

速報!

プロ棋士・杉本昌隆八段による公開講座を開催

日にち: 2025年2月28日(金)

場所: 中京大学 名古屋キャンパス 清明ホール(1号館3階)

お申し込みや詳細など、最新情報は右記コードから▶▶▶



Monthly News



瀬戸SOLAN小学校の児童がスポーツ科学部桜井伸二研究室を来訪

5月14日、探究型学習の一環で本学を訪れた小学生たち。「ドッジボールの球を速く投げるには」「ケガをしない体の動かし方」といった質問に対して、バイオメカニクスを専門とする桜井教授らはモーションキャプチャーなどを用いて解説しました。

■小学生の質問に答える桜井教授(右から4人目)

5
May.

7
Jul.

JFNラジオCMコンテストで本学学生2名の作品が入賞、各作品がラジオで放送される

全国38のFMラジオ局のネットワーク「JFN」による「JFNラジオCMコンテスト2024 ～ラジオに乗せて、学校アピール～」で、本学学生2名の作品が入賞しました。



ヴェネツィア大学とオンライン交流

中京大学の協定校、ヴェネツィア大学の学生とオンライン上で交流する「Let's Blend」が開催されました。英語と日本語を交えて、お互いの大学紹介やフリートークを行い、楽しく充実した時間を過ごしました。

8歳の少年が中京大学アメリカンフットボール部へ長期療養中の子どもの夢を応援

病気で長期療養中の子どもがスポーツチームに入団し、自立支援やコミュニティの創出を目指すTEAMMATES事業*の一環で、高木湊人さん(8歳)がアメリカンフットボール部へ入部しました。この事業は愛知県で初の取り組みで、主将の松元奏選手は「全力で湊人さんをサポートし、楽しみながら活動していきたい」と意気込みを語りました。



■(左)中京大学アメリカンフットボール部の大橋誠ヘッドコーチ、(中央)高木湊人さん、(右)松元奏主将

*企画運営:認定NPO法人Being ALIVE Japan
協力:芦塚倫史ゼミ(スポーツ科学部)

昼休みに気軽に参加できる「Let's国際交流」こどもの日を開催

国際交流ボランティア「VOICE」は5月8日、「Let's国際交流」*をグローバル教育センターラウンジで開催しました。VOICEメンバーによる文化紹介の後、留学生は中京大生とともに兜づくりや折り紙に挑戦しました。

*Let's国際交流:留学生と文化を紹介し合い、フリートークやアクティビティを通して交流する昼休み実施の小規模イベント。



■笑顔を見せる留学生と中京大生たち

経営学部齊藤毅ゼミ、高齢者と小学生が交流できる夏休みワークショップを開催

「MCI(軽度認知障害)の回復のために、高齢者と子どもが交流する場をつくることできないか?」と企画した本イベント。参加者から笑顔が見られ、高齢者と子どもが交流する機会の重要性を学びました。

■ワークショップを通じて交流を深める参加者



8
Aug.



■売買管理室を見学

金融市場を研究する総合政策学部石井北斗ゼミ、名古屋証券取引所を訪問

6月14日、名古屋証券取引所を訪れた石井ゼミは、株式の仕組みと証券取引所の役割について学びを深めました。その後、売買管理室や歴史資料を見学。ゼミ生たちは、金融の現場を訪問し、学びへの意欲がさらに高まった様子でした。

6
Jun.



学校法人梅村学園と株式会社名古屋銀行が連携・協力に関する包括協定を締結
梅村清英理事長は締結式で「本学学生のキャリア形成、そして地元の未来を担う人材育成の勢いが加速するはず。こういった独自の取り組みを通じて、選ばれる大学でありたいと考えています」と語りました。

■(写真左から)梅村清英理事長、藤原一朗取締役頭取

10 Oct.

現代社会学部の中田雅美ゼミ・真鍋公希ゼミが「ツーリズムとよた」との連携開始

社会福祉学について学ぶ中田ゼミと、文化社会学について学ぶ真鍋ゼミ。両ゼミの学生たちは豊田市松平町でのイベント「松平郷天下泰平の竹あかり」用マップの作成と松平郷に飾られる竹灯籠の配置を提案、さらにオリジナル竹灯籠の制作にも取り組みました。当日は多くの人が集まり、一帯は賑やかな光に包まれました。



■竹灯籠制作に取り組む学生



教員を目指す4年生が愛知総合工科高校で「SNS非行・被害防止教室」を実施

よくある闇バイトへの誘い文句や、特殊詐欺に加担してしまった人の動機などを授業で紹介し、「条件が良すぎるものや、個人情報の同意書がないアルバイトは疑うようにしてください」と注意を促しました。学生たちは「少しでも闇バイトに対する危険意識が、高校生に芽生えてくれたら嬉しいです」と振り返りました。

工学部橋本学研究室、CEATEC 2024出展ブースは多数の来場者で賑わう

アジア最大級のデジタルイノベーション総合展「CEATEC 2024(シートック)」が10月15日～18日、幕張メッセにて開催されました。橋本研究室は「現場の課題にサイエンスで応える」をスローガンに出展。ブースには多種多様な業種の、350社を超える企業関係者が訪れました。現場が抱える課題に直結した橋本研究室への関心の高さをうかがわせました。



■来場者に解説する橋本学教授(中央)



■落ち着いた空間となり、会話が弾む学生たち

名古屋キャンパスの学生食堂の内装が、ひと足早くリニューアル

学生食堂「カフェテリアプレジール」は、2025年4月にリニューアルオープンを予定しています。今年9月、ひと足早く内装がリニューアルされました。座席数は460席から518席に増え、温かみのある空間でさらに快適に過ごせる学生食堂となっています。

校訓「真剣味」書道部員が揮毫し、キャンパス内に掲示

書道部員が校訓「真剣味」を揮毫し、その作品がキャンパス内に掲示されました。真夏の日差しが降り注ぐ9月、墨の香りが漂う部屋で、部員たちは心を込めて自分の書道作品と向き合いました。この作品は、名古屋・豊田両キャンパスの教室合わせて271部屋に掲示しています。



■制作に携わった書道部員たち



11 Nov.

中京大学祭が名古屋・豊田両キャンパスで開催 子どもから大人まで多くの来場者で賑わう

名古屋キャンパスでは11月2日から4日の3日間、豊田キャンパスでは11月3日と4日の2日間、中京大学祭が開催されました。大学生はもちろん、高校生や卒業生、地域の皆さまにもご来場いただき、賑わいました。

■中京大学グッズを販売する学生たち

「ライト」が活躍しています！



「ライト」とは？



学生広報スタッフ『ライト』は、中京大学の魅力を内外に伝えるために活動する学生ボランティア団体です。ホームページに掲載する取材活動やSNSの企画運用、映像制作、オープンキャンパスや説明会での案内役など、幅広い活躍の場を用意しています。キャリア形成に役立つさまざまなスキルを磨くことができます。



チーム制度

希望や適性に合わせて3つのチームに分かれて活動しています。

team A 冊子・コラム制作チーム



広報誌やスポーツ誌の制作を担当します。企画立案から、取材・撮影、原稿制作、レイアウトデザインまで一貫して学生が行い、クリエイティブな視点で読み手に魅力的なコンテンツを作り出します。

team B SNS企画・運用チーム



大学公式Instagramの企画・運用を担当します。投稿内容の企画、撮影、編集、スケジュール管理などを行います。SNSの特性を活用し、学内外と協力して進めます。

team C 映像制作チーム



豊富な撮影機材を活用し、イベントの動画撮影・編集、Vlogの制作を担当します。チーム内で映像技術やトレンドを随時共有し、視覚的に発信する「旬なコンテンツづくり」を行います。



こんなことをしています！



子どもスポーツフェスタでインタビュー



第73回全日本大学野球選手権大会で囲み取材に参加

記者会見でのメディア対応やアスリートたちへの独自取材など行っています。大会にかける思いを選手や監督にインタビューしたり、イベント参加者の声を集めたり。大学の取り組みを映像にまとめて魅力を発信しています。学生目線の広報活動は、多くの方からご理解をいただきながら進めています。



研修制度あり



部活動の公式大会や地域の方が多く参加する大学のイベントなど、学内外での取材活動が多いライトのメンバーたち。取材・撮影のノウハウや立ち居振る舞いなどを身に付ける場として、各種研修の場を提供しています。メディアや広告のプロを招いて行う研修を通じてスキルを磨いています。

ライトメンバーの声

東京で行われた宇野昌磨選手の引退会見を取材させていただきました。自分自身の充実感が終わることなく、この感動を皆さんに伝えたいといけないう使命感を感じました。(総合政策学部・3年)

デジタルマーケティング研修では実際に広告の方向性を決める過程を体験。自分たちのアイデアがどんどん具体化していくのが楽しく、やりがいを感じました。(現代社会学部・2年)

右ページはライトメンバーが制作しました！

探偵 ライトスクープ

名古屋キャンパスの ライトメンバー



樋口 生海 [経営学部4年] 大西 星流 [心理学部3年] 石井 莉子 [文学部3年] 久保 美優 [文学部4年] 小笠原 優斗 [文学部4年]

このページは学生広報スタッフ「ライト」のメンバーが取材・撮影を担当しました。学生ならではの目線を生かした企画・記事をお届けします！

今回のテーマは「気になる学内施設」

公式ホームページなどでは伝えられない施設の魅力を中京大生だからできる直撃取材でお届けします！

名古屋キャンパス グローバル 教育センター(GEC) はどんな場所？



グローバル教育センター(Global Education Center、略称：GEC)は、留学希望者へのサポートのほか、多様な国際交流プログラムやイベントを企画、運営し、学生へ異文化交流の場を提供しています。

GECの 国際交流 ラウンジに 直撃取材！



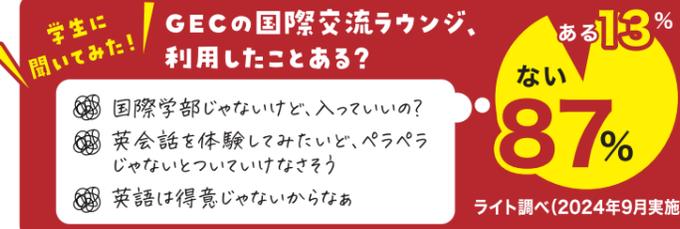
ライトが直撃したときは、留学生が母国の文化や食べ物などを紹介するイベント「International Fair」が開催されていました。

イベントに参加した感想は？

ラウンジに来るのは初めてで不安でしたが、みんなフレンドリーに接してくれて楽しめました。(法学部 1年)

私は心理学部ですが、クイズ形式など楽しみながら参加できておもしろかったです。(心理学部 1年)

このラウンジは、学部や学年、英語の知識を問わず、気軽に立ち寄りやすいところだとわかりました。定期的にイベントも開催されているので、私もまた行きたいです！



豊田キャンパスの ライトメンバー

松下 萌 [現代社会学部4年] 江口 未桜 [現代社会学部2年] 園田 真那斗 [現代社会学部3年]



豊田キャンパス 学生食堂に 直撃取材！

2024年4月にリニューアルオープンしました。1階は「EAGLE TERRACE」、2階は焼き立てのパンやお弁当も提供しているカフェ「CHUGLE CAFE」となっています。



健康維持を目指し、栄養バランスの取れたおいしい食事が提供されています。



食事以外でも利用できます。グループワークや友人のおしゃべりの場所としても利用されています。



学部・学年を問わず、多くの学生に利用されています。



学生アスリート向けの食事プランは特に好評です！



ボリューム満点で栄養バランスの取れたおいしい料理が提供されているので、僕もお昼休みによく利用しています。普段は自炊派という方も、カフェのように利用するのもおすすめです。

挑戦する大学 THE MOVIE

本学には、それぞれの夢に向かって
挑戦している学生がいます。
そして、その挑戦を支える環境と覚悟があります。

新作ムービーは
こちらから



『未来への扉編』

”夢を追いかける”
それは簡単なことではありません。
時には笑われたり、失敗を恐れたり。

でも、それを乗り越えて、勇気を持って一歩一歩前進する。自分を信じて、仲間を信じて。

私の未来は、私が決める。



中京大学開学70周年を記念して、挑戦する学生にフォーカスしたプロモーション映像を公開しました。

大学公式Instagramで配信中!

レッツゴーブンカ 其 参



『レッツゴーブンカ』とは?

スポーツのイメージが強い中京大学ですが、実は文化会部活動の活躍もアツい!というわけで、
中京大学文化会が、日本や世界の文化を再発信していく連載企画です。



天文クラブこぐま座 澤戸 隆真さん(工学部 2年・天文クラブこぐま座部長)

地球の自転軸は約23.4度傾いており、この軸は傾いたまま約2万5800年の周期で一周します(歳差運動)。この時、自転軸の先端が描く円周上の星が周期的に交代するため、数千年前の北極星はポラリス(こぐま座α星)ではなく、また数千年後にはポラリスも北極星ではなくなってしまうのです。

現在の北極星であるポラリスは2等星で比較的明るく、肉眼でも観測できる星です。この広報誌が発行されるころは、他の季節に比べて空気が澄んでおり、天体観測にはぴったりの季節といえます。夜空を見上げて、柄杓(ひしゃく)の形をした北斗七星やWの形をしたカシオペア座を見つけられれば、天体に詳しくない方でもその真ん中に輝く北極星をすんなりと見つけられるはずです。ぜひ、北斗七星やカシオペア座と共に、本団体の名前にもなっているこぐま座のポラリス(北極星)を探してみてください。

また、北極星の反対側の空を見上げると、冬の大三角形と呼ばれるオリオン座のベテルギウス、おおいて座のシリウス、こいぬ座のプロキオンなど、一度は耳にしたことがある星々も見ることができると思います。ぜひ、皆さんも夜空を見上げて、天体観測をお楽しみください。

天文クラブ「こぐま座」は、天文を楽しむことを目的に活動しています。晴天時には名古屋キャンパス内で天体観測を、大学祭ではプラネタリウムの出展や鑑賞会を行っています。長期休暇中には合宿などを通じて、天文の知識を深めています。活動の様子は、公式SNSにアップしていますので、ぜひご覧ください。



X
chukyo_kogumaza



Instagram
chukyo_kogumaza



暮らしをちょっと豊かにする ワンポイントアドバイス

明けて
おめで
とう
ござい
ます。



デジタル化が急速に進む今 あらためて知ってほしい！ 手書き文字の魅力

明けて
おめで
とう
ござい
ます。
手書きでもいろんな文
字で感じ方が違うのほ
なぜだろう？

今回のコラムニストは…
文学部 大池 茂樹 教授
研究分野 漢字文化論・書道教育

皆さんは、手書き文字にどんなイメージを持っていますか？
デジタル化が進む昨今、“わざわざ”手書きする意味と
その価値について、お話ししたいと思います。

教えて大池先生！手書き文字に関する素朴な疑問



- Q. 「書を楽しむ」って、ハードルが高い響きです。
A. 書の場合は特にそうおっしゃる方が多いのですが、逆にお聞きしたいのですが、絵や音楽、舞台など、書以外の芸術を楽しむときも、専門知識を学ばれてから臨んでいるのでしょうか？「この書は好み」「なんだかよくわからないけどすごいと思う」、まずはここから大丈夫です。
- Q. かすれたりにじんだりしている文字は、失敗ではないのですか？
A. 良い質問です。きちんと枠に収まった字が良い書であるとは限らないのです。これこそ、手書きの書の魅力が詰まった部分です。パソコンやスマートフォンで入力する文字とは違い、その時の作者の思いや制作意図がかすれやにじみとなって表現されています。余白も含めて味わってみてください。
- Q. 手書きの“書”の未来についてどう思われますか？
A. これからも、デジタル化が進むからといって絶えてしまうことはないでしょう。日本の登録無形文化財では、手書きする文字表現が評価の対象となり、2年後のユネスコ無形文化遺産登録へ一歩前進しました。

中京大学での手書き活動

書作活動 書道に関する授業(文学部「書道」「書道史」「書論」など)

効率や实用性にとどまらない 手書きの魅力を再発見！

中京大学文学部では、さまざまな書体の用筆法や表現技法を理解し、実技能力を高める「書」の授業を用意しています。硬筆指導では、美しく整った文字を書く技法を学びます。また、漢字のルーツ中国や、奈良・平安時代の書道を鑑賞する機会も多くあり、実用にとどまらず芸術としての書の表現を追求できます。

あの日展にチャレンジする学生も

書道部では、「書」の技術を学び、楽しむ活動を行っています。活動の中心は、半紙や条幅(縦長の大きな紙)を使った作品制作。基本的な練習から高度な技術の習得まで、幅広いレベルに対応しています。部員たちは、師範号の取得や展覧会での入賞を目標に、授業では学べない専門的な技術を磨いています。書道部のもう一つの魅力は「書の楽しさを広める活動」です。大学祭では書道パフォーマンスを披露し、筆と墨で表現される文字の美しさや迫力を、直接感じていただける機会を作っています。



まとめ
近頃は「タイパ」という言葉がよく聞かれ、作業効率を上げることが良しとされつつあります。タイパだけを見れば、手書きの書は決して良いものではないでしょう。
しかし、効率だけを追い求めるあまり、そこに至るまでの努力や紆余曲折をないがしろにして、結果だけが重視されるのは、なんだか味気ない暮らしになってしまいます。日常生活に不可欠なもの以外、良い意味で“無駄”を楽しむ余裕を持つてみてはいかがでしょうか。

【国際コース】中京大学留学生との交流イベントを開催

国際コースで、7月5日と9日の2日間、ALT(外国語指導助手)との交流イベントが開催されました。今回は中京大学から、アメリカとイタリア出身の7名の交換留学生が来校しました。留学生と生徒たちは、ディベートの授業において、活発な意見交換を行いました。本校の生徒は、留学生の皆さんと英語での会話を楽しみました。また、同様の交流イベントは10月にも開催されました。留学生と生徒の双方にとって有意義な時間となりました。



世界にはばたけ！

世界の舞台で、自分らしい泳ぎができました。



【水泳部】パリ五輪 競泳／村佐達也選手 800mリレー日本7位入賞



パリ五輪の競泳男子4×200mリレーで、日本は7位に入賞しました。第1泳者を務めた村佐達也選手(3年)は、第1泳者を務め、予選から記録を伸ばし、自己ベストに迫る1分46秒69で次の選手につなぐ力強い泳ぎを見せました。試合後のインタビューで「とにかく楽しもうということだけを考えて泳ぎました」と心境を振り返りました。



【硬式野球部】第106回 全国高等学校野球選手権大会 出場！

硬式野球部は、第106回全国高等学校野球選手権愛知大会決勝戦で東邦高校に7-3で勝利し、7年ぶり29度目の夏の甲子園出場を決めました。

甲子園では1回戦で宮崎商業高校(宮崎)に4-3で勝利しましたが、2回戦では神村学園高校(鹿児島)に3-4で惜しくも敗れました。皆さんの大応援に背中を押され、選手たちは最後まで頑張りきることができました。ありがとうございました。



ご声援ありがとうございました！





■ タイトル 梅披鏡前之粉



■ 表紙作者 多郎浦 遥叶さん (文学部3年・美術部部长)

梅村学園の“梅”にちなんで、寒さの中にも春の訪れを感じられる、凛と咲き誇る梅の花を表現しました。樹皮はごつごつと硬く、枝は滑らかですべっこく、花卉は軽やかで涼やかに。細かく色の変化をつけることで、手触りを感じられるよう工夫しました。「令和」の典拠となった、『万葉集』の「梅花の歌三十二首 序文」からイメージして制作しました。

広報誌の送付を
希望される方は
こちら



本誌に関する
ご意見ご感想を
お寄せください。



広報誌の送付停止
のお手続きは
こちら

